**眼科領域一覧表（専門研修基幹施設）**

専門医制度名 　眼科専門医制度

専門研修プログラム名

専門研修基幹施設名

日本眼科学会認定研修施設番号　　　　　　＿＿＿＿＿＿

専門研修プログラム統括責任者名

他の専門研修基幹施設と連携を持つ（いわゆる相乗りプログラムがある）場合は、各専門研修基幹施設で当事者間での協議により按分した専門研修指導医数および診療実績の合計を併記してください（他のプログラムと重複して計数することはできません）。

専門研修指導医数について整数で按分できない場合は、分数（1/3など）で記入してください。

**１．専門研修基幹施設の研修プログラム担当委員一覧**

1. 専門研修プログラム統括責任者氏名：

所属と役職：　 　　　　　　　　　　　　　　　　 常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日：　 （平成　　年　　　月　　　日登録）

電話番号：　　　　　　　　　　　　　FAX番号：

e-mail：

1. 眼科領域研修委員（専門領域：角結膜）氏名：

所属と役職：　　　　　　　　　　　　 常勤・非常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日： （平成　　年　　　月　　　日登録）

1. 眼科領域研修委員（専門領域：緑内障）氏名：

所属と役職： 常勤・非常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日： （平成　　年　　　月　　　日登録）

1. 眼科領域研修委員（専門領域：白内障）氏名：

所属と役職：　 常勤・非常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日： （平成　　年　　　月　　　日登録）

1. 眼科領域研修委員（専門領域：網膜硝子体・ぶどう膜）氏名：

所属と役職：　 常勤・非常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日： （平成　　年　　　月　　　日登録）

1. 眼科領域研修委員（専門領域：屈折矯正・弱視・斜視）氏名：

所属と役職：　 常勤・非常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日： （平成　　年　　　月　　　日登録）

1. 眼科領域研修委員（専門領域：神経眼科・眼窩・眼付属器）氏名：

所属と役職：　 常勤・非常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日 （平成　　年　　　月　　　日登録）

1. 眼科領域研修委員（他科診療連携委員）氏名：

所属と役職： 　 常勤・非常勤

眼科専門医登録番号と登録年月日 （平成　　年　　　月　　　日登録）

**２．専門研修基幹施設の診療実績**

**１）専門研修基幹施設の診療実績**

1．眼科専門研修マニュアルに記載されている下記の領域について、到達目標を達成可能な

ものに✓点をつけてください。

　基本姿勢・態度

　角結膜

　緑内障

　白内障

　網膜硝子体・ぶどう膜

　屈折矯正・弱視・斜視

　神経眼科・眼窩・眼付属器

　他科との診療連携

2．専門研修指導医マニュアルの個別到達目標（Ⅱ.眼科診断技術および検査）に記載されている

下記の検査について、到達目標を達成可能なものに✓点をつけてください。

視力　屈折　調節　視野　光覚　色覚　斜照法、徹照法、強膜透照法

眼底検査、眼底撮影、蛍光眼底造影　細隙灯顕徴鏡検査　神経眼科学的検査

眼位、眼球運動、両眼視機能　緑内障検査　涙液分泌　導涙検査

角膜知覚検査　細菌、ウイルス、塗抹標本　電気生理学的検査、画像診断

眼球突出度検査

3．専門領域における年間手術数およびその細目について、各項目に記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **按分前（件）** | **按分後（件）** |
| **外眼手術** | **計　　　　件** | **計　　　　件** |
| **内眼手術** | **計　　　　件** | **計　　　　件** |
| **レーザー手術** | **計　　　　件** | **計　　　　件** |
| **合　　計** | **計　　　　件** | **計　　　　件** |

4.専門研修指導医数およびその指導担当分野を記入してください。

専門領域指導医数　　　　　　名　　　　　　　　　按分後　　　　名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指導医氏名（按分された  場合はカッコ書き） | 指導医登録番号 | 担当分野(1角結膜　2.緑内障 3.白内障 4.網膜硝子体・ぶどう膜 5. 屈折矯正・弱視・斜視　6.神経眼科・眼窩・眼付属器 7.他科診療連携) |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**２）専門研修施設群における診療実績**

1．眼科専門研修マニュアルに記載されている下記の領域について、群全体で到達目標を達成可能なものに✓点をつけてください。

　基本姿勢・態度

　角結膜

　緑内障

　白内障

　網膜硝子体・ぶどう膜

　屈折矯正・弱視・斜視

　神経眼科・眼窩・眼付属器

　他科との診療連携

2. 専門研修指導医マニュアルの個別到達目標（Ⅱ.眼科診断技術および検査）に記載されて

いる下記の検査について、群全体で到達目標を達成可能なものに✓点をつけてください。

視力　屈折　調節　視野　光覚　色覚　斜照法、徹照法、強膜透照法

眼底検査、眼底撮影、蛍光眼底造影　細隙灯顕徴鏡検査　神経眼科学的検査

眼位、眼球運動、両眼視機能　緑内障検査　涙液分泌　導涙検査

角膜知覚検査　細菌、ウイルス、塗抹標本　電気生理学的検査、画像診断

眼球突出度検査

3．群全体での専門領域における年間手術数およびその細目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **按分前（件）** | **按分後（件）** |
| **外眼手術** | **計　　　件** | **計　　　件** |
| **内眼手術** | **計　　　件** | **計　　　件** |
| **レーザー手術** | **計　　　件** | **計　　　件** |
| **合　　　計** | **計　　　件** | **計　　　件** |

4.　群全体での専門研修指導医数およびその指導担当分野

専門領域指導医数　　　 　名　　 按分後　 　名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指導医氏名（按分された場合はカッコ書き） | 指導医登録番号 | 担当分野(1角結膜　2.緑内障 3.白内障 4.網膜硝子体・ぶどう膜 5. 屈折矯正・弱視・斜視　6.神経眼科・眼窩・眼付属器 7.他科診療連携) |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |